

令和5年7月定例教育委員会会議録

○日 時 令和5年7月19日(水) 午後3時～午後3時50分

○場 所 櫛引庁舎 3階 教育委員室

○出席委員 教育長 布川 敦

1番 百瀬 克浩(教育長職務代理者)

2番 清野 康子

3番 中村 公俊

4番 齋藤 美緒

○欠席委員 なし

○出席議事説明職員氏名

教育部長 永壽 祥司

参事兼管理課長 清野 健

学校教育課長 今野 新一

学校教育課指導主幹 渡邊 智

社会教育課長 沼沢 紀恵

社会教育課文化財主幹 五十嵐 雄

スポーツ課長 阿部 三成

中央公民館長 熊坂 めぐみ

図書館長 五十嵐 恭子

給食センター所長 小林 尚志

○出席事務局職員氏名

管理課庶務係長 長瀬 陽彦

【会議次第】

1 開会

2 市民憲章唱和

3 会議録署名委員の指名

4 議事

日程第1 議第16号 令和6年度使用鶴岡市立小学校教科用図書の採択について

日程第2 議第17号 令和6年度使用鶴岡市立中学校教科用図書の採択について

日程第3 議第18号 令和6年度使用鶴岡市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について

日程第4 議第19号 鶴岡市中央公民館運営審議会委員の委嘱について(非公開)

日程第5 議第20号 鶴岡市郷土資料館運営委員会委員の委嘱について(非公開)

5 報告事項

(1) つるおかスリーダーウォーク2023の開催について

(2) プラネタリウム夏の一般公開について

(3) その他

6 閉会

開 会 (午後3時)

教育長 ただいまから7月の定例教育委員会を開会する。はじめに市民憲章唱和を行う。

(社会教育課長が先唱し市民憲章唱和)

教育長 本日の会議録署名委員は、3番委員に願います。

それでは議事に入る。はじめに、日程第1議第16号から日程第3議第18号までの議案3件を一括して議題とする。事務局より説明をお願いします。

学校教育課指導主幹 議第16号から18号までについて説明する。

本議案3件については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第13条、14条の規定により、来年度使用する教科用図書の採択について、教育委員会で議決し、県教育委員会に報告するものである。

まず、議第16号について説明する。

小学校の教科用図書については、来年度から4年間使用する教科用図書の採択の年度となっており、本市と庄内町、三川町の1市2町の教育委員、教育長及び保護者代表等によって構成される、田川地区教科用図書採択協議会を開催し、採択することになっている。このたびの採択協議会は、5月22日と7月5日の2回開催し、十分な協議を経て採択案を決定したところである。

採択理由について、説明する。

採択する教科用図書の選定にあたっては、各種目について、共通観点と独自観点を設定して検討した。

共通観点は、第一に、地域や児童の実態に応じた内容構成・配列等への配慮。これにはユニバーサルデザインへの配慮も含む。第二に、児童の学習意欲を高める資料やレイアウト等の工夫。これにはデジタルコンテンツを含む。第三に、基礎基本の定着と思考力・判断力・表現力の育成のための工夫、言語活動の充実への配慮。以上の3点である。

また、独自観点は、教科の特性に応じて1ないし2観点を設定した。

各種目ごとの採択理由について説明する。

はじめに、国語では3社の中から、「教育出版」とした。独自観点は「読書力の育成」である。すべての観点において、工夫や配慮が見られたが、特に各領域がバランスよく配列されていることや、各单元において多様な言語活動が盛り込まれていること、また、学習のステップが明示されているため、見通しを持って学びやすいこと、更に、読書との関連が図られ、読書力の育成が期待されるなどの良さがあつた。

続いて、書写では3社の中から、「東京書籍」とした。独自観点は「書写の日常化」である。すべてにおいて工夫や配慮が見られたが、特に基本的な姿勢や筆の運び方が冒頭にまとめられていること、発達段階に応じた配慮がなされていること、毛筆から硬筆への書き方のポイントを連動してとらえることができるような学習過程になっていることにより、他教科や日常の各活動に生かすことが期待されるなどの良さがあつた。

次に社会では、3社の中から「東京書籍」とした。独自観点は「社会の変化への対応」である。すべての観点において工夫や配慮が見られたが、特に、単元ごとに学習の進め方をわかりやすく示し、問題解決的な学習に取り組みやすい構成となっていること、また、多くの単元で庄内平野をはじめとする東北地方を取り上げているため、児童にとって親しみやすいことに加え、単元末に学習を振り返って自分たちにできることを考える場面があり、社会的な事柄に参画したり、提案したりする視点を意識した構成になっているなどの良さがあつた。

次に地図では、2社の中から「帝国書院」とした。独自観点は地図への興味を持たせる配慮、多様な調べ学習への対応、文字の明瞭さ、色彩、立体感などの見やすさや親しみやすさ、社会の変化への対応である。全ての観点において工夫や配慮が見られたが、特に、発達段階に応じて地図の見方や使い方を理解できるように構成されていること、「金峰山」「余目」など本地域の地名が詳しく記載され、児童が親しみをもちやすいように工夫されているといった良さがあつた。

次に算数では、6社の中から「東京書籍」とした。独自観点は、内容の系統性や思考過程の工夫である。5観点すべてにおいて工夫や配慮が見られたが、特に、単元の導入が、分かりやすく興味を持てるように写真・イラストを効果的に強調して使用していること、デジタルコンテンツが1,445あり、学校だけでなく家庭においても学びを支援できるといった良さがあつた。

次に理科では、5社の中から「啓林館」とした。独自観点は理科の見方考え方をより確かなものにしていくための工夫、新しい内容への対応とQRコードを利用した学び方である。すべての観点において工夫や配慮が見られたが、特に、「理科の見方・考え方」については、キャラクターやアイコン等を使って、児童に注目させたい視点や着目点に注目させる紙面構成となっていること、「くらしとリンク」・「活用しよう」・「他教科関連マーク」など自分達の生活と理科との関連や、今日的課題への興味・関心・意識を高めることができる豊富な資料が示されていること、児童に立ち止まって考えさせたい視点が明確に示されているなどの良さがあつた。

次に生活では、6社の中から「啓林館」とした。独自観点は、活動や体験を広げるための具体例の紹介である。4観点すべてにおいて、工夫や配

慮が見られたが、特に、児童の課題意識や学習意欲が高まるようなレイアウトや資料の提示がされていること、「デジタルたんけんブック」「学びウェブ」には関連情報が多く掲載されていること、教科書内の写真と動画がリンクしており、児童の興味や活動の幅を広げる工夫がされているといった良さがあつた。

次に音楽では、2社の中から「教育芸術社」とした。独自観点は「生涯にわたって豊かに音楽に親しむ態度を養う工夫」である。全ての観点において、工夫や配慮が見られたが、特に、吹き出しに活動のヒントがあるなど、児童の気づきや思考を促し、言語活動の充実を図るための配慮をしていること、思考力・判断力・表現力の育成に適した構成となっているといった良さがあつた。

次に図画工作では、2社の中から「日本文教出版」とした。独自観点は表現と鑑賞の関連である。どの観点においても工夫や配慮が見られたが、特に、児童が想像力を働かせて豊かな発想を広げたり、現代的な諸課題へ対応したりできるように配慮されていること、鶴岡・田川地区で扱うことの多い生活画や読書感想画の学習も設定されているといった良さがあつた。

次に家庭では、2社の中から「開隆堂」とした。独自観点は「日常生活の中から問題を見出し課題を設定する工夫」である。4観点すべてにおいて工夫や配慮が見られたが、特に、資料や写真の掲載の仕方で、児童の興味・学習意欲を高める工夫がされていること、内容でページカラーを変え、すべての実習の手順を見開き横流れで示しており見やすく、誰もが迷わずに手順を理解することができるよう配慮されていること、また、触って動かすことのできる動画コンテンツが優れているといった良さがあつた。

次に保健では、6社の中から「東京書籍」とした。独自観点は運動領域と保健領域を関連させた課題解決型学習への配慮と発達段階に応じた現代的な健康課題への配慮である。どの観点においても工夫や配慮が見られたが、特に、主体的に学びをスタートできるような構成となっていること、フォントも文字の大きさも見やすく、ユニバーサルデザインへの配慮が細やかであること、自分で書き込みながら学習を進められるよう、思いや考えをメモする欄も豊富に設定されているといった良さがあつた。

次に外国語（英語）では、6社の中から「光村図書」とした。独自観点は、話す（やり取り、発表）、聞く、読む、書くの5つのバランスと主体的にコミュニケーションを図ろうとする言語活動の工夫である。特に、シラバスを掲載し、各Unitの「Story」を中心に段階的に学べるなど、見通しをもって学習する構成になっていること、デジタルコンテンツが充実していること、日常生活と関連付け、個人、ペア、グループなど、多様な形

態で活動に取り組むことで4領域をバランスよく習得できるといった良さが見られた。

最後に特別の教科道徳では、6社の中から「学研教育みらい」とした。独自観点は、「自己を見つめ、望ましい生き方を多面的・多角的に深く考えさせるための配慮」である。どの観点においても工夫や配慮が見られたが、特に山形県や東北地方に関連する内容の資料が多く、児童が興味を持ちやすいことや、教材名の下にキーフレーズを置いて、教材の主題は表示せず、多様な考えを児童から引き出し、主体的に考えさせる工夫がみられるといった良さがあった。

次に、議第17号について説明する。

中学校の教科用図書については、令和2年度に採択され、令和3年度から令和6年度まで4年間継続使用することとなっている。別紙一覧のとおりご可決いただきたい。

次に、議第18号について説明する。

小中学校の特別支援学級で使用する教科用図書については、別紙一覧のとおりご可決いただきたい。これらの教科用図書は、特別支援学級の児童生徒の実態に合わせて、使用可能な教科用図書を大枠として採択し、採択された別紙一覧の中から、各学校で適切な教科用図書を使用できるようにするものである。

具体的には、次の4つの場合がある。1つめは、先に説明した当該学年使用の教科用図書を使用する場合、2つめは、下学年の教科用図書を使用する場合、3つめは、文部科学省作成の☆印の教科用図書を使用する場合、4つめは、別添の一般図書を使用する場合である。

教育長

ただいまの議第16号から議第18号まで、質問、意見等はないか。

1番委員

今回採択協議会に出させていただいたが、採択理由について異論はない。今回は全面改訂ではなく部分改訂であったが、内容の系統性や継続性を考慮すべき教科もあると感じた。研究委員会に研究を委ねないで協議会で採択を決定していくというやり方は可能か。教科によっては継続が妥当であると検討したうえで、研究委員会に委ねるのが相応しい教科もあるのではないかと感じた。

学校教育課指導主幹

教科によっては、2学年まとめて示されているものもあるため、内容の継続性を考えた時に変えない方がいいという意見もあるかもしれないが、中身を見てみないと分からない部分もあるので、研究員の方に詳細に研究していただき、その意見をふまえて採択協議会で決めるという流れがよいと考える。来年度は中学校の採択協議会があるので、進め方についてより効率的に出来るのであれば、事務局でも精査したい。

教育長

部分改訂とはいえ、教科書会社も様々研究しているわけなので、一律に

継続というのは難しい面もある。研究委員会にしっかり研究していただくことも大事だと考える。継続になったとしても、様々なスペシャリストから内容を把握してもらうことが大きな強みである。採択するにあたって市民への説明責任もあるので、やるべきことはやらなければならないと考える。効率性を求めるだけでなく、内容をしっかり把握して教科書を採択する義務があると感じる。今後検討できる部分があればしていきたい。

ほかに質問、意見等はないか。

それでは議第16号から議第18号までについて一括して採決する。これらの議案について、賛同の方は挙手をお願いします。

各委員
教育長

(全員挙手)

全員挙手により可決された。続いての議案であるが、日程第4議第19号から日程第5議第20号までは人事案件のため、非公開とすることに異議はないか。

各委員
教育長

異議なし。

異議なしと認め、議第19号から議第20号まで非公開とする。

これより非公開の審議に入るため、傍聴の方は退席をお願いします。

(会議録は別記録とする)

教育長

続いて報告事項に入る。報告事項(1)について、事務局より報告をお願いします。

スポーツ課長

つるおかスリーデーウォーク2023の案内をさせていただきます。

このイベントは、9月16日(土)、17日(日)、18日(月祝)に行うもので、昨年はコロナ禍を考慮して県民限定としていたが、4年ぶりに全国から参加を受け付けることとしている。

パンフレットの中面にコース案内の記載があるが、初日のみんなで歩こう里山あるき、羽黒山修験のみちコースは、2,446段の石段から始まる生まれ変わりの旅とされている日本遺産を肌で感じながら、合祭殿を經由し旧参道を下り、手向地区をめぐる行程となっており、5kmから20kmのコースがある。2日目の大山上池・下池コースは、大山小学校をスタートし、ラムサール条約登録湿地を經由し、高館山から日本遺産の北前船の寄港地を望むという5kmから20kmのコースを設定している。また、最終日の3日目は、第25回国際ノルディックウォークin鶴岡を開催し、湯野浜小学校を発着して国民保養温泉地に指定されている湯野浜温泉街と自然豊かな西郷地区を巡る3kmから14kmのコースを準備している。

昨年の参加者の中には、3日連続で最長のコースにチャレンジされた方もおり、台風接近によるフェーン現象で気温が高いといった条件ではあったが、参加された多くの皆さんから満足いただけた。

教育委員の皆様からもぜひご参加いただき、緑あふれる自然と豊かな食

文化の街つるおかを楽しく歩いていただきたい。

教育長

ただいまの報告について、質問、意見等はないか。

1 番委員

1 日目 2 日目は本市独自の事業と思うが、最終日の国際ノルディックウォークは25回とあるが全国でやっているものか。

スポーツ課長

当初国際ノルディックウォークは7月に開催していた。昨年から「みんなで歩こう！里山あるき」の2日間と組み合わせて3日連続で開催している。ビーチノルディックの発祥の地と言われる本市湯野浜で行われたのが最初と言われており、1990年代からスタートしている。ノルディックウォーク連盟から公認された正式な大会であり今回で25回目となる。当初は湯野浜温泉観光協会が主体となり観光客を全国から呼び込む目的で始めた事業である。10年程前に観光物産課から教育委員会に引き継いで、スポーツ課が主体となり行っている。「国際」とついているが、最近だと2018年にホストタウンの相手国であるモルドバ共和国のオリンピック委員会のジュラスキ会長のご一家がちょうどこのタイミングでお見えになってたことから、ご家族のみなさんから参加していただき国際色を出したものである。ノルディックウォークは元々北欧で発祥した種目で、それを日本で最初にやったのが湯野浜であり25回の歴史を刻んでいる。

1 番委員

昔から「国際」とついていたのか。

教育部長

ノルディックウォークは世界中でも色々な所で行われている。鶴岡では健康と観光を結び付けた取組みとしてやっており、全日本レベルの大会として「国際」とつけてやってきた。

教育長

私も以前参加したことがある。3日連続はかなりハードであるが好きな方は3日連続で参加されており、今年は盛況になると思われる。

ほかに質問、意見等はないか。なければ次に、報告事項（2）について、事務局より報告をお願いします。

中央公民館長

当館では例年8月のお盆の時期にプラネタリウム夏の一般公開を実施しており、今年度も15日(火)と17日(木)の2日間にわたり実施する。番組は年度を通して公開するデジタル番組であるが、今回初めて本市の公式LINEを活用してのインターネット予約を実施することとしたので紹介する。

プラネタリウムの予約制は、新型コロナ対策として始めたものだが、予約していただくことで確実に席をご用意できるので、今後も継続していきたいと考えている。一方で、予約受付開始日には電話4回線が話し中で掛かりにくいなどご迷惑をおかけしており、職員側も電話対応のためにシフトを組む等の対応をしている。今回インターネット予約を取入れることにより利便性が向上し、かつ事務の効率化が図られることを期待して導入するものである。利用には、鶴岡市のお友達になっていただくことが必要であり、その後トーク画面で公共施設を選択し、中央公民館プラネタリウム

という項目を選んでいただくと予約画面につながるようになる。現在8月8日(火)の受付開始に向け最終的な詰め作業を行っている。なお、市外の方やインターネット環境がない方、不安な方もいると思われるため、引き続き電話での予約も対応する。

初めての試みのためトラブルもあるかもしれないが、まず実施してみて、必要な改良を加えながらぜひ良いものにしていきたい。皆様にも利用及び周知の協力をお願いしたい。

教育長

ただいまの報告について、質問、意見等はないか。

利用者の方はLINE予約のことをわかっているのか。

中央公民館長

チラシを学校経由で配布し、今月末に来館された方にも宣伝する。

教育長

これ以降はLINE予約になるのか。それとも今回限りか。

中央公民館長

どこに支障出るか不明なので実施してみてもからの判断になるが、不具合あれば解消しながらできるだけLINE予約にしていきたい。

教育長

ほかに質問、意見等はないか。

なければ、ほかに報告事項はあるか。なければこれをもって7月の定例教育委員会を終了する。

閉 会 (午後3時50分)